

平成24年3月期 決算説明会 データブック

平成24年5月30日
シダックス株式会社
(JASDAQ スタンダード : 4837)

平成24年3月期 決算トピックス

I. 連結経営成績 [短信 サマリー及び【添付資料】2～3ページ記載]

我が国経済は、東日本大震災の復興政策により、経済活動に回復の兆しがみられたものの、海外景気の下振れや為替相場の変動リスク等により、先行きは不透明な状況にあり、また将来への不安を背景とする消費者の低価格・節約志向が高まるなど、企業を取り巻く環境は厳しいものがあります。このような中、当社グループでは、総合力を活かした新規営業開発、TV-CMの放映や各種キャンペーン企画等の実施による売上維持拡大戦略を行うとともに、一元物流食材への切替え促進や店舗経費等のコストコントロールを一層強化し、安定的な収益を確保できる経営基盤の強化に努めてまいりました。

■ 平成24年3月期 連結業績ハイライト

(単位:百万円)

	平成23年3月期				平成24年3月期					
	第2四半期累計(実績)		通期(実績)		第2四半期累計(実績)		通期(実績)		前期比	
		構成比		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
売上高	97,568	100.0%	195,098	100.0%	92,998	100.0%	188,244	100.0%	△ 6,853	△3.5%
売上原価	87,463	89.6%	170,838	87.6%	80,642	86.7%	161,597	85.8%	△ 9,240	△5.4%
売上総利益	10,105	10.4%	24,259	12.4%	12,355	13.3%	26,646	14.2%	2,387	9.8%
販売費及び一般管理費	9,913	10.2%	19,947	10.2%	10,194	11.0%	20,756	11.0%	809	4.1%
営業利益	191	0.2%	4,312	2.2%	2,161	2.3%	5,890	3.1%	1,578	36.6%
営業外収益	348	0.4%	1,244	0.6%	305	0.3%	468	0.2%	△ 776	△62.4%
営業外費用	736	0.8%	1,498	0.8%	865	0.9%	1,505	0.8%	7	0.5%
経常利益	△ 196	△0.2%	4,059	2.1%	1,601	1.7%	4,853	2.6%	794	19.6%
特別利益	69	0.1%	193	0.1%	48	0.1%	48	0.0%	△ 144	△74.7%
特別損失	2,061	2.1%	3,276	1.7%	210	0.2%	528	0.3%	△ 2,747	△83.9%
当期純利益	△ 1,885	△1.9%	△ 672	△0.3%	220	0.2%	781	0.4%	1,453	—
総資産	101,804	—	97,935	—	97,371	—	89,679	—	△ 8,256	—
純資産	19,744	—	20,786	—	19,934	—	20,445	—	△ 340	—
自己資本	19,644	—	20,678	—	19,843	—	20,351	—	△ 326	—
自己資本比率	19.3%	—	21.1%	—	20.4%	—	22.7%	—	1.6%	—
ROE(自己資本当期利益率)	△8.9%	—	△3.1%	—	1.1%	—	3.8%	—	6.9%	—
ROA(総資産経常利益率)	△0.2%	—	3.9%	—	1.6%	—	5.2%	—	1.3%	—

(注)【ROE】=四半期(当期)純利益/自己資本合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)、【ROA】=経常利益/総資産合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)

【売上高】1,882.4億円(前期比△3.5%)

- コンパクト・メディカルフードサービス事業・・・長引く経済情勢の悪化により受託先企業・病院施設のコスト削減に伴う契約内容の見直しや解約等の影響を受けたが、前期対比微減。
- レストランカラオケ事業・・・震災後の市場動向の見極めが困難な中、TV-CMの放映や多様化する消費者ニーズを反映させた様々なキャンペーン企画等による集客施策を行った結果、前期対比微増。
- コンビニエンス中食事業・・・同業他社・大手コンビニエンスストアとの病院内出店の競争が激化する中、前期実績を上回る。
- トータルアウトソーシング事業・・・同業他社との競争が激化する中で地方自治体における予算削減や民間企業におけるコスト削減・解約等の影響を受けたが、前期実績と同水準に留まる。

【営業利益】58.9億円(前期比+36.6%)

【経常利益】48.5億円(前期比+19.6%)

【当期純利益】7.8億円(前期は6.7億円の当期純損失)

- 売上高については厳しい状況で推移したが、特にレストランカラオケ事業において店舗経費等のコストコントロールの強化を図り利益率の改善に努めたことに加え、その他の各事業セグメントにおいても材料費・労務費等のコスト管理を徹底し業務効率の改善を図った結果、営業利益で15.7億円、経常利益で7.9億円、当期純利益で14.5億円前期実績を上回る。

II. セグメント別業績の増減説明

[短信【添付資料】2～3ページ及び31～36ページ記載]

■ セグメント別業績

(単位:百万円)

売上高	23年3月期	24年3月期	増減額	増減率
エスロジックス事業	52,266	45,402	△ 6,863	△13.1%
コントラクトフードサービス事業	32,190	30,934	△ 1,255	△3.9%
メディカルフードサービス事業	37,614	37,334	△ 280	△0.7%
レストランカラオケ事業	47,831	48,146	314	0.7%
スペシャリティールレストラン事業	18,219	17,944	△ 274	△1.5%
コンビニエンス中食事業	12,482	14,003	1,520	12.2%
トータルアウトソーシング事業	36,241	36,345	103	0.3%
その他	4,653	4,884	230	5.0%
消去及び全社	△ 46,401	△ 46,751	△ 349	△0.8%
売上高 計	195,098	188,244	△ 6,853	△3.5%

(単位:百万円)

セグメント利益	23年3月期	利益率	24年3月期	利益率	増減額	増減率
エスロジックス事業	3,830	7.3%	4,262	9.4%	432	11.3%
コントラクトフードサービス事業	2,029	6.3%	1,747	5.6%	△ 281	△13.9%
メディカルフードサービス事業	1,446	3.8%	1,377	3.7%	△ 69	△4.8%
レストランカラオケ事業	291	0.6%	2,430	5.0%	2,138	733.5%
スペシャリティールレストラン事業	△ 200	△1.1%	△ 129	△0.7%	70	35.3%
コンビニエンス中食事業	384	3.1%	419	3.0%	35	9.2%
トータルアウトソーシング事業	2,316	6.4%	1,909	5.3%	△ 407	△17.6%
その他	186	4.0%	268	5.5%	81	43.5%
消去及び全社≒HQコスト	△ 5,973	—	△ 6,394	—	△ 421	△7.1%
営業利益	4,312	2.2%	5,890	3.1%	1,578	36.6%

□ エスロジックス事業は、コントラクト・メディカルフードサービス事業及びレストランカラオケ事業の売上高減少の影響を受けましたが、購買スケールメリットの更なる追求などにより、セグメント利益は42.6億円(前期比11.3%増)となりました。

□ コントラクトフードサービス事業は、大手同業他社との競争激化に加え、受託先企業の契約内容の見直しや解約等の影響により、売上高は309.3億円(前期比3.9%減)、セグメント利益は17.4億円(前期比13.9%減)となりました。

□ メディカルフードサービス事業は、病院施設などの経営環境が依然厳しい中、一元物流食材の導入率アップを図るとともに、食材調達価格の低減や業務効率の改善に努めた結果、売上高は373.3億円(前期比0.7%減)、セグメント利益は13.7億円(前期比4.8%減)と前期水準を維持しました。

□ レストランカラオケ事業は、消費者の低価格・節約志向が依然として続く中、昨年末のTV-CM放映や各種キャンペーン企画等を行った結果、売上高は481.4億円(前期比0.7%増)と前期水準を維持しました。利益面においては、店舗経費等の更なるコストコントロールを行い収益性の向上に努めた結果、セグメント利益は24.3億円(前期比733.5%増)と大幅改善となりました。

□ スペシャリティールレストラン事業は、主に国内市場において東日本大震災の影響による個人消費の落ち込みも影響し、売上高は179.4億円(前期比1.5%減)、セグメント損失は1.2億円となりました。

□ コンビニエンス中食事業は、病院施設などの経営環境が厳しい中、大手コンビニエンスストアや多業態からの攻勢などにより厳しい経営環境にありますが、新規店舗を36店獲得するとともに、店舗外の売上獲得強化策や労務費及び廃棄ロスの徹底管理による収益性の向上に努めた結果、売上高は140.0億円(前期比12.2%増)、セグメント利益は4.1億円(前期比9.2%増)となりました。

□ トータルアウトソーシング事業は、地方自治体の財政縮減や民間企業のコスト削減等により車両管理事業の新規受託件数が減少しましたが、社会サービス事業における新規受託件数が増加したため、売上高は363.4億円(前期比0.3%増)と前期水準を維持しました。利益面においては、民間における解約・値引き要請等の影響により、セグメント利益は19.0億円(前期比17.6%減)となりました。

Ⅲ. 連結貸借対照表の増減説明

[短信【添付資料】6ページ及び15～16ページ記載]

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	23年3月期	24年3月期	増減額
現金及び預金	8,570	9,255	684
売上債権	12,462	12,938	476
その他流動資産	7,665	5,917	△ 1,747
有形固定資産	33,487	27,055	△ 6,432
のれん	10,997	10,124	△ 872
敷金及び保証金	10,491	10,968	476
その他固定資産・投資等	14,259	13,419	△ 840
資産計	97,935	89,679	△ 8,256

(単位:百万円)

	23年3月期	24年3月期	増減額
仕入債務	8,314	8,027	△ 287
借入金・社債(短期・長期)	40,784	34,828	△ 5,956
リース債務(短期・長期)	7,989	4,673	△ 3,316
資産除去債務	3,034	3,058	23
その他負債	17,025	18,645	1,620
負債計	77,149	69,233	△ 7,915
純資産	20,786	20,445	△ 340
自己資本比率	21.1%	22.7%	1.6%

□ 総資産は、前期末に比べ82.5億円減少し896.7億円(前期末比8.4%減)となりました。

流動資産は、現金及び預金が6.8億円増加した一方、繰延税金資産が11.3億円減少したことにより、前期末に比べ5.8億円減少し281.1億円となりました。固定資産は、有形固定資産が64.3億円及び無形固定資産が9.1億円減少したことにより、前期末に比べ76.6億円減少し615.6億円となりました。

□ 負債は、前期末に比べ79.1億円減少し692.3億円(前期末比10.3%減)となりました。

流動負債は、未払金が5.4億円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が23.4億円減少したことにより、前期末に比べ17.2億円減少し394.1億円となりました。固定負債は、社債が13.5億円増加した一方、長期借入金が48.7億円及びリース債務が25.6億円減少したことにより、前期末に比べ61.8億円減少し298.1億円となりました。

□ 純資産は、前期末に比べ3.4億円減少し204.4億円(前期末比1.6%減)となりました。

純資産減少の主因は、当期純利益7.8億円の計上及び剰余金の配当5.8億円等により利益剰余金が2.2億円増加した一方、取締役会決議による自己株式取得により自己株式が4.6億円増加並びに為替相場の変動により為替換算調整勘定が0.9億円減少したことによります。

以上の結果、当期末における自己資本比率は、前期末に比べ1.6ポイント上昇し22.7%となりました。

IV. 連結キャッシュ・フロー計算書の増減及び財政状態の説明

[短信 サマリー及び【添付資料】6～7ページ、21～22ページ記載]

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	23年3月期	24年3月期	増減額
営業活動キャッシュ・フロー	8,918	13,416	4,498
投資活動キャッシュ・フロー	△ 978	△ 2,225	△ 1,246
財務活動キャッシュ・フロー	△ 12,863	△ 10,474	2,388
換算差額	△ 28	△ 32	△ 3
現金・同等物期末残高	8,338	9,023	684

□ 営業活動の結果得られた資金は134.1億円(前期は89.1億円の資金獲得)となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益は43.7億円でしたが、法人税等の支払額が11.7億円あった一方、減価償却費が75.4億円、減損損失が2.7億円、のれん償却額及び負ののれん償却額が8.2億円、未払金の増加額が5.7億円、未払費用の増加額が3.0億円並びに未払消費税等の増加額が2.7億円あったことによります。

□ 投資活動の結果使用された資金は22.2億円(前期は9.7億円の資金使用)となりました。

これは主に、有形固定資産の売却による収入が3.7億円、敷金及び保証金の回収による収入が3.0億円あった一方、有形固定資産の取得による支出が10.7億円、無形固定資産の取得による支出が5.8億円及び敷金及び保証金の差入による支出が11.1億円あったことによります。

□ 財務活動の結果使用された資金は104.7億円(前期は128.6億円の資金使用)となりました。

これは主に、長期借入れによる収入が72.0億円及び社債の発行による収入が19.5億円あった一方、長期借入金の返済による支出が143.0億円、リース債務の返済による支出が35.6億円、配当金の支払額が5.8億円並びに自己株式の取得による支出が4.6億円あったことによります。

以上の結果、当期末における「現金及び現金同等物」は、前期末に比べ6.8億円増加し90.2億円(前期末比8.2%増)となりました。

■ キャッシュ・フロー指標の推移

	22年3月期	23年3月期	24年3月期
自己資本比率(%)	21.2	21.1	22.7
時価ベースの自己資本比率(%)	14.0	12.1	15.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	505.0	546.9	294.4
インフレ・カバレッジ・レシオ(倍)	8.2	7.1	12.1

■ 有利子負債等残高の推移

(単位:百万円)

	22年3月期	23年3月期	24年3月期	増減額
借入金・社債	48,671	40,784	34,828	△ 5,956
リース債務	7,663	7,989	4,673	△ 3,316
未経過リース料期末残高相当額(注)	5,227	4,869	4,357	△ 511
合計	61,562	53,643	43,859	△ 9,784

(注) 不動産リース取引は除く

V. 平成25年3月期の通期連結業績予想

[短信 サマリー 及び【添付資料】4～5ページ記載]

■ 次期の見通し

当社グループは、「食」を中心とした水平垂直統合型グループ構造の推進により経営効率化を図り、「食」のフィールド拡大と車両運行管理から社会サービスなど様々な業務の受託拡大を図るため、営業体制の強化を行うとともに、社会問題解決型企業として環境・食料・地域の問題に対しても取り組んでまいります。

次期業績予想は、連結売上高1,950億円、連結営業利益70億円、連結経常利益60億円、連結当期純利益10億円を見込んでおります。

(単位:百万円)

	24年3月期 実績	25年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	188,244	195,000	6,755	3.6%
営業利益	5,890	7,000	1,109	18.8%
経常利益	4,853	6,000	1,146	23.6%
当期純利益	781	1,000	218	28.0%

VI. セグメント別店舗数推移表

22年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加		28	4	2	2	3	1	40	7	4	3	3	0	1	58
	減少		5	6	6	5	4	14	40	1	5	4	4	6	80	140
	残	1,457	1,480	1,478	1,474	1,471	1,470	1,457	1,457	1,463	1,462	1,461	1,460	1,454	1,375	1,375
メディカル	増加		40	3	2	7	0	1	53	2	3	4	0	2	1	65
	減少		8	5	5	9	6	4	37	4	3	1	6	8	33	92
	残	892	924	922	919	917	911	908	908	906	906	909	903	897	865	865
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	減少		0	0	0	1	1	2	4	0	0	0	0	0	0	4
	残	304	304	304	304	303	303	301	301	301	302	302	302	302	302	302
車両管理台数	増加		1,174	32	25	39	17	31	1,318	34	19	27	23	13	16	1,450
	減少		443	101	58	44	34	25	705	63	21	21	31	11	30	882
	残	3,937	4,668	4,599	4,566	4,561	4,544	4,550	4,550	4,521	4,519	4,525	4,517	4,519	4,505	4,505
社会管理人員	増加		1,819	71	63	125	218	100	2,396	35	47	45	84	16	14	2,637
	減少		897	95	43	49	63	51	1,198	53	56	31	65	15	19	1,437
	残	4,923	5,845	5,821	5,841	5,917	6,072	6,121	6,121	6,103	6,094	6,108	6,127	6,128	6,123	6,123
コンビニエンス中食	残	353			358			359			354				351	

23年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加		30	6	1	3	3	5	48	3	2	2	2	3	4	64
	減少		6	2	5	10	6	7	36	2	2	7	0	3	65	115
	残	1,375	1,399	1,403	1,399	1,392	1,389	1,387	1,387	1,388	1,388	1,383	1,385	1,385	1,324	1,324
メディカル	増加		38	5	4	3	3	3	56	6	3	3	1	0	2	71
	減少		4	1	3	6	2	7	23	9	5	2	4	3	34	80
	残	865	899	903	904	901	902	898	898	895	893	894	891	888	856	856
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	減少		0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	残	302	302	301	301	301	302	302	302	303	303	303	303	303	302	302
車両管理台数	増加		275	30	30	40	14	16	405	17	8	18	18	4	15	485
	減少		1,155	25	22	29	25	14	1,270	35	12	20	24	11	13	1,385
	残	4,505	3,625	3,630	3,638	3,649	3,638	3,640	3,640	3,622	3,618	3,616	3,610	3,603	3,605	3,605
社会管理人員	増加		1,040	30	60	17	110	43	1,300	73	71	24	42	25	4	1,539
	減少		680	67	45	33	38	26	889	78	37	30	35	38	28	1,135
	残	6,123	6,483	6,446	6,461	6,445	6,517	6,534	6,534	6,529	6,563	6,557	6,564	6,551	6,527	6,527
コンビニエンス中食	残	351			365			369			377				377	

24年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加		34	5	0	4	2	2	47	7	2	3	3	2	5	69
	減少		7	1	2	6	13	5	34	2	2	3	0	4	48	93
	残	1,324	1,351	1,355	1,353	1,351	1,340	1,337	1,337	1,342	1,342	1,342	1,345	1,343	1,300	1,300
メディカル	増加		32	2	9	5	0	1	49	3	2	2	4	0	4	64
	減少		3	3	3	3	3	10	25	12	7	1	4	1	45	95
	残	856	885	884	890	892	889	880	880	871	866	867	867	866	825	825
レストランカラオケ	増加		0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	減少		0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	3
	残	302	302	303	302	301	301	301	301	301	302	302	301	301	301	301
車両管理台数	増加		398	35	48	32	26	18	557	41	19	20	12	16	23	688
	減少		483	28	29	21	18	17	596	41	19	13	13	11	14	707
	残	3,605	3,520	3,527	3,546	3,557	3,565	3,566	3,566	3,566	3,566	3,573	3,572	3,577	3,586	3,586
社会管理人員	増加		1,149	44	11	87	98	19	1,408	48	25	39	10	26	24	1,580
	減少		739	30	96	62	35	18	980	38	20	30	23	16	32	1,139
	残	6,527	6,937	6,951	6,866	6,891	6,954	6,955	6,955	6,965	6,970	6,979	6,966	6,976	6,968	6,968
コンビニエンス中食	残	377			388			389			392				389	

VII. レストランカラオケ事業 月次売上・客数推移

22年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		4,173,605	4,692,966	3,805,344	4,241,815	4,799,682	3,966,683	25,680,094	3,754,371	3,657,515	6,332,419	4,865,838	3,420,330	4,368,854	52,079,420
客数(千人)		2,698	2,996	2,496	2,719	3,131	2,678	16,718	2,437	2,351	3,379	3,063	2,351	3,098	33,397

23年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		3,784,031	3,929,508	3,368,268	3,976,487	4,466,276	3,738,892	23,263,462	3,765,744	3,426,043	6,214,604	4,544,054	3,275,783	3,341,978	47,831,668
客数(千人)		2,550	2,704	2,395	2,772	3,137	2,622	16,179	2,549	2,259	3,225	2,793	2,223	2,397	31,625

24年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		3,749,816	3,868,535	3,472,856	4,051,167	4,426,821	3,615,806	23,185,001	3,518,123	3,411,287	6,081,408	4,478,495	3,168,834	4,303,076	48,146,225
客数(千人)		2,460	2,582	2,348	2,707	3,022	2,500	15,618	2,386	2,263	3,129	2,758	2,200	2,912	31,268